

1. 評価報告概要表

作成日 平成22年2月15日

【評価実施概要】

事業所番号	1070201106
法人名	社会福祉法人白水会
事業所名	グループホームマイライフ
所在地	高崎市寺尾町1453-1 (電話) 027-320-7000

評価機関名	特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12
訪問調査日	平成22年1月21日

【情報提供票より】(平成22年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 14人 非常勤 3人 常勤換算	10.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	3階建ての	2階 ~	3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(月額)	1,100 円(月額)	その他の経費(月額)	光熱水費 600円(月額)・通院介助費 1000円(1時間)
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 50 円

(4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	4名	要介護2	3名		
要介護3	6名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	1名		
年齢	平均 81.4歳	最低	72歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	サンピエール病院 ・ 太田歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは観音山丘陵に立地し、山々の四季の変化がリビングからも展望でき、自然豊かな環境の中にある。全職員が理念を基に、利用者が地域の中で生きがいを持って生活できるよう、花見会に地域の方を招待したり、地域のどんだん焼きに出かけている。また、ホームでは誕生会や運動会等の行事やバーベキュー・おはぎ作りなど利用者の一人ひとりの特技や持っている力を発揮できる場作りを支援して一緒に楽しんでいる。隣接する同法人の養護老人ホームとの連携も密にとられ、イベントの参加や災害時等協力体制がとられている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題は、職員会議で話し合い、改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、管理者が職員会議で全職員から聞き取り、会議に出席できない職員からは前もってメモ書きしてもらい管理者がまとめ、回覧して職員全員で共有している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議は2ヶ月毎に開催し、家族代表は輪番制で公平に出席できるようにしている。ホームからは現況報告や実地指導・外部評価の報告を行い、議題の中で地域に貢献したいことを話している。市職員からは介護保険の新しい制度について等説明してもらい、サービス向上に活かしている。その都度会議録をホーム内に掲示して、情報の共有を行っている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱を各ユニットごとの玄関に設置している。家族面会時は利用者の近況報告を行い、さりげなく意見・不満・苦情等が言える雰囲気作りを行なっている。運営推進会議でも家族の方の意見を聞き、運営に反映している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームは観音山丘陵の中腹に位置するが、孤立することがないように散歩の折には会う方にホームの説明を行い、理解していただく努力をしている。地域のどんだん焼きに参加させてもらったり、花見会には近隣の方を招待するなど、地域の人々との交流に努めている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本的人権を保護し、地域の中で安心して家庭的な生活が送れるよう、理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝会や職員会議で、理念に基づいた介護ができていないかを管理者が話し、全職員で取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームは観音山丘陵の中腹に位置するが、孤立することがないように近隣の方を花見会に招待したり、地域のどんど焼きに招待され参加する等、地域の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員、評価の意義を理解している。自己評価は、職員会議で職員から意見を聞き取り、出席できない職員は前もって意見を出し、管理者がまとめ、回覧して職員全員が共有している。前回の改善課題は、職員会議で、どういう事が求められているかを話し合い、改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月毎に開催し、家族代表は輪番制ですべての家族の方が公平に出席できるよう取り組んでいる。ホームから現況報告や実地指導・外部評価の報告を行い、議題の中で地域に貢献したい事を話している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険認定の更新や空き状況の報告時に訪問し、利用者にとって役立つ情報などを聞いている。また、生活保護担当の社会福祉課の方との情報報告も行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等を報告し、面会に来られない家族の方には、請求書・領収書送付時にマイライフ通信(約年3回発行)で様子を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱は各階に設置しており、投函がないので「マイライフ通信」で利用の呼びかけをしている。家族の面会時には利用者の近況報告等を行いながら、さりげなく意見・不満・苦情が言えるような雰囲気づくりを行っている。出された意見は運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の異動は最小限に抑える努力はしているが、結婚・妊娠・家族等の都合による退職者が同時期に重なってしまった場合、その都度新人職員教育を行い、主任がつき指導し、利用者へのダメージを防ぐ努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県主催の研修には、主任が振り分けて、計画的に全職員が受講できるようにしている、研修後は職員会議で報告し、資料を回覧している。また、ホーム内研修では、技術研修や感染症等資料を基に行い資質向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会の各種研修には必ず参加して交流している。交換研修も行い、他事業所の活動状況を参考にサービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	希望者の見学はいつでも受け入れ、利用者・家族が混乱なく安心して利用できるようホームの雰囲気を体験できる。入居希望の方には、入居前の調査を行い、主治医の意見書や生活歴を聴取して、入居前の生活習慣が継続できるよう支援している。入居後は、トイレや部屋がわからなくなるよう見守りを行いながら支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、日頃から職員は利用者へ声をかけ、一緒に調理して味付けやあく抜き等利用者から教えてもらう場面作りを行っている。また、本人が出来ないことを支援して、共に支え合う関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の生活歴や趣味等を聞き、フェースシート(基礎的な記入票)に記入している。入居後も、日々のかかわりの中で本人の意向や希望を把握している。困難な場合は、普段の生活を見ながら家族と相談し検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時に本人や家族から意向を聞き、入居前のケアマネジャーからの情報提供も参考に、受診時の医師の意見も聞いている。介護計画作成会議に出られない職員は意見書を提出し、全職員の意見が反映されるように介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のモニタリングやカンファレンスを行い、6ヶ月毎の計画の見直しを行っている。状態変化の場合は、ケースカンファレンスを行い、家族や必要な関係者と話し合い検討見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急受診時の送迎や付き添いを行ったり、受診後の薬を取りに行ったりしている。また、必要時の個別の買い物等利用者と家族の状況に応じた柔軟な支援を提供するよう努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族が希望するかかりつけ医とし、受診は原則家族が対応している。職員はホームでの状況を家族に伝え、受診後の報告を聞き介護日誌に記録し、職員で共有している。かかりつけ医の希望がない場合は協力医を紹介し、適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームでは、できること・できないことを入居時に家族に説明している。口から食事が摂取できる介護の状態では医療行為が必要となるまでは、どんなことでも支援して行く方針を全職員で共有している。昨年12月主治医の往診のもと看取りを行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	マイライフの理念「利用者の基本的人権を保護する支援」を実践し、トイレ誘導や失禁時の排泄ケアでは、周囲の人に目立たず、さりげない対応を行っている。各種書類等の個人情報は、事務所で記録管理している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調や気持ちを尊重し、本人の意向に沿った生活が送れるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	同法人施設の栄養士の献立を参考に、利用者の好みに合わせて提供している。誕生会や行事には、特別食のメニューを用意している。テーブル拭き、野菜の皮むき、味付け等一緒に調理を行い、下膳等も出来る方にはしていただき、一緒にテーブルで食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午前・午後に、体調変化を見ながら利用者の希望を尊重し好きな時間帯に入浴支援している。毎日入浴する方もいる。入浴を拒否する利用者には時間をおいたり、昔話など聞きながら、最低週2回の入浴を支援している。また、柚子湯や菖蒲湯で季節感を味わっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除・洗濯・調理など出来ることに参加してもらい、その人の持っている力が発揮出来るよう支援している。誕生会では臼と杵を使っての模擬の餅つきを利用者と一緒に行い、昔の思い出を楽しんだり、初詣やイベント等外出を行い気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームは観音山丘陵の傾斜地にあり毎日の散歩は難しいが、ワゴン車で花見・イルミネーション見物・初詣・観音山ファミリーパークへのドライブや買い物・外食等、戸外に出かける機会を作っている。また、食事会をホームの庭で行い外気浴を支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日勤の時間帯は、誰でも自由に訪問できるよう常に玄関や居室は施錠せず、エレベータも自由に使用でき、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の指導の下で防災訓練(夜間想定も含む)を行い、毎回避難方法を検討している。自動火災報知器を設置して、消防署や同法人の隣接する施設へ直接連動しており、緊急時の協力体制ができている。また、近隣の人達に協力していただく声かけを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同法人施設の栄養士が作成した献立表を参考に、栄養バランスを考慮しながら食事作りを行っている。水分摂取量の少ない利用者には、飲み物の種類を変えて十分な水分が摂取できるように支援している。一人ひとりの状態に応じて、煮物は柔らかく、キザミやトロミアップ等で工夫し提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング兼食堂は、2ユニットの利用者が共に行事を開催できるよう広々としており、大きなガラス窓からは山々の四季や高崎市街地が一望できる。テーブルやカウンターには季節に応じた花を飾り、利用者の作品の書初めが貼られている。共用空間は清潔に保たれ居心地良く過ごせるよう配慮されている。各ユニットの玄関前に犬が飼われていて、利用者も声かけしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には箆笥や整理箱、写真や日用品・使い慣れた枕や布団が持ち込まれ、居心地良く過ごせるよう配慮されている。		